

Think Globally Act Locally (Vol.9)

ボランティアのすすめ

4月27～29日にかけて、東京都檜原村で「里山ボランティア」が行われました。これは、林業を中心とした共同作業を通じて、環境問題を考えたり、自然と親しむ企画です。今回、本校から三名の参加者がありました。そのうちの一名から、詳細な報告書が届きましたので一部を紹介します。

『檜原村滞在記 ---- 自分の知らない東京を見た ----』

東京都に檜原村と言うところがある。そこで林業を体験した。

問題...人工林は本当に自然を壊してしまうのだろうか？

日本の森林の大半が今や人工林となっている。そして多くの人が"人工林は自然林を壊した結果"と思っているだろう。(事実、僕も檜原に行く前はそう思っていた。)ところが、人工林という物は人間の手を加え続けられればすばらしいものである。

下草を刈ったり枝を打ったりしないと地面がぐらぐらになり、その結果木の成長がストップする。そうすると雨が降ったり雪が積もったりすると木が倒れる。もし人間が手を加え続けられればそんなことは起こらない。森を守るためには自然のまま放っておくか、あるいは人間が手を加え続ける必要がある。人工林が自然を壊すわけではない。

林業の主な仕事...要するに"森を育てる"

植える...木を植える(植林)

下草を刈る、枝を払う(下草刈り、枝打ち)

質の悪い木を倒す(間伐)

その他色々。

《1日目 "遊学の森"見学》

2,3時間森を歩いて、森の仕組みや構造をいろいろ教わった。そのうち、これは伐根更新という。切り株の上どこからか種が飛んできてその上で根付く。ここには杉とさわらが生えた。(ただし育っていくかは別。田中さんの見方ではさわらは枯れてしまうのではないかと。)森の中で様々な森林の営みを見る。

《2日目 "間伐"に挑戦!!》

滑って転倒するのを防ぐため最初に足場を確保する。(斜面の傾斜角は45度くらいあった。)そして足元の草を刈る。鋸を使って切り倒す方の木の幹を3分の1くらい切り、(そうしたほうが鉋で欠き取りやすい。)鉋で三角形に欠き取る(受け口という。)鉋は狙いを定め、一箇所に当てることは重たい急斜面なので難しい...腕が疲れる仕事。

今度は受け口の反対側から鋸を入れていく。(三角形の下側から2cmくらい上がいいらしい。追いつくという)鋸はゆっくりゆっくり動かしていく。しばらく切っていくと木がみしみしと揺れ始める...細い木は木目が詰まっているので切り倒すのが大変。杉に比べ檜は成長が遅いので切り倒しにくい。檜は香りが非常に強かった。

いよいよ木を倒す。その前に周りに人がいようがいまいが"倒すぞー"と一声掛けて安全を確保する...。追いつく側から木を押ししていく。その時に木の枝・幹が他の木に引っかからないように気を付けながら倒していく。木がみしみしと更に大きく鈍い音を立てる。この時は谷側に木が密集していたので尾根側に切り倒した。

本当はここで枝を払って木を3m毎に切断し、柄引き(くさびを打ち込んでロープで引き出す)をやるのだが、僕らは木を切るのに夢中になっていた...木を倒すだけが林業ではない!!!を実感した。

取りあえず枝打ちし3m毎に切られた木(夢中になっている僕ら数名以外に伐採班の数名が切ってくれました...感謝)を担いで運び出して(重い)そして軽トラックに積み込んで宿舎へ運んだ。初めてトラックの荷台に乗った...(不思議と楽しかった)

鉋を使って皮を剥いていく。(今回の場合は木が腐りにくくするためと...)鉋で表皮を少し削り皮を剥いていく。皮の裏はすべすべして肌触りがよく、水っぽかった。皮の方は捨ててしまう。木の方は乾燥させてから使用する(乾燥には長い時間を要する。)乾燥させないと製品化した後ひびが入ってしまう。

夜は村の人を交えてパーティー。各グループ(間伐、混合林作業、染色(草木染め)および山菜料理作り)の発表を山菜料理を食しながら聞いた。何だか発表を聞いていたら全部やってみたくなった。

《3日目 倉掛山(1078m)登頂》

登っていく途中で休憩中。(倉掛集落付近、標高は700m。)後方の山は浅間尾根。疲れていたからあまり覚えていない... 出発前に全員記念写真

《感想》

林業って何なのか今までよく知らなかったのだが今回檜原村を訪れて林業のごく初歩を体験し、日本の森林を守るために必要な仕事であることを痛感した。危険は伴う仕事だったが非常に楽しかった。高校生がほかに二人しかいなかったが(本校のさんと××さん)社会人の方とも楽しく3日間をすごせて、非常に楽しかった。また行けることがあればきちんと木を運べる状態にすることや柄引きなどもしっかりやってみたいと思う。

白寿荘でのボランティア 募集

日時 : 6月29日(土) 午後

事務所前を13:20に出発します。

申し込み : 6月15日(土)

ボランティア部顧問の広田真知子先生まで申し出てください。

活動内容 : 主に清掃と交流

第6回ブレンデンシャル・ボランティア賞 の案内

内容 : 2001年4月以降に行われたボランティア活動に参加して学んだこと、
感じたこと、将来の目標などを応募用紙の項目に沿って記述し、応募。
(個人の活動として応募すること。団体としての応募は不可)
詳細は5F掲示板を見てください。なお資料は生徒部にあります。

応募 : 9月20日(金) 当日消印有効

「子供と一緒に遊び隊」隊員 募集

内容 : 子供と遊び、触れあいながら月1~2回の行事を行っていく。
自分の都合に合わせての参加も可能。

実際の活動・行事についての資料は生徒部にあります。

応募 : 随時

連絡先 : 渋谷区立千駄ヶ谷社会教育館

渋谷区千駄ヶ谷1-6-5

電話 03-3497-0631